



宮寺小だより

かしこく なかよく たくましく

令和8年度 第5号

9月1日 児童数197名

入間市立宮寺小学校

入間市宮寺594-1 電話 2934-2014



きれいな 心～主体的に取り組む子供たちを育てるために ～

宮寺小学校 校長 塩澤 榮一

夏休みが1週間延びました。先生方には、夏休みが1週間延びた分、人としての学びを深めましようかと声をかけました。わたしの学びを紹介します。サッカーのワールドカップでは日本選手のがんばりに関心を持ち、『「言語技術」が日本のサッカーを変える』という本に出会いました。20年も前に出されたものですが、たくさん学びました。「イタリアの選手が退場させられて選手が1人減ってしまったその時、イタリアの選手たちは、誰一人として、ベンチを見なかった。」とありました。日本人の選手は失敗してしまうと、フリーズしてしまい、ベンチを見ることがあったと。しかし、今の選手たちは点を取られてしまったら、「次どうする」といったことを選手たちで声をかけ合い、次の戦いに挑んでいきました。大きな成長ですね。

高校野球では、初出場の八王子実践高校の河本ロバート監督が「選手との対話重視」の姿勢でチームを育てました。

アメリカでは選手と指導者が対等で、互いの意見をすり合わせながら練り上げるスタイルが印象に残った。「自分で考えて練習しないと周りとの差がつくだけ」と、自主性の大切さを知るきっかけになったと。「指導しすぎないのも指導」を

実践し、選手たちは主体的な練習でレベルアップしました。と、新聞で読みました。また、埼玉代表の花咲徳栄高校は春の大会で大敗したのが悔しくて、選手たちで話し合い、朝6時に集まり自分たちで練習し、夏の大会に備えました。と、テレビの放送で聞きました。初戦敗退でしたが、主体的に取り組む姿勢は育ったことでしょう。

これらの実践から、あらためて主体的に取り組む子供たちを育てていくことが大切だと学んだ夏休みでした。毎日の授業をはじめ、2学期は多くの行事も予定されています。主体的に取り組ませるということを全職員で共通理解して、進めていきます。ご家庭でも睡眠時間・朝ごはん・家庭学習・SNSの使用について、自分で時間を決める、家族と相談するなどして、進んで取り組めるよう声かけをお願いします。

ふるさとの夏祭り



宮寺小学校では自主性(的)・主体性(的)をこのようにとらえています

自主性(的)とは⇒「やるべきことが決められていること」に対して、自ら率先して行動すること。
主体性(的)とは⇒「何をするべきか決められていないこと」に対して、自分の意志・判断により自ら責任を持って行動すること。

☆校長の学び『今月の読書』は本文の中で紹介させていただきました。